

8月20日の大雨における巖木ダム洪水操作の効果について

◆8月19日~20日の大雨により、巖木ダムでは洪水調節を実施しました。

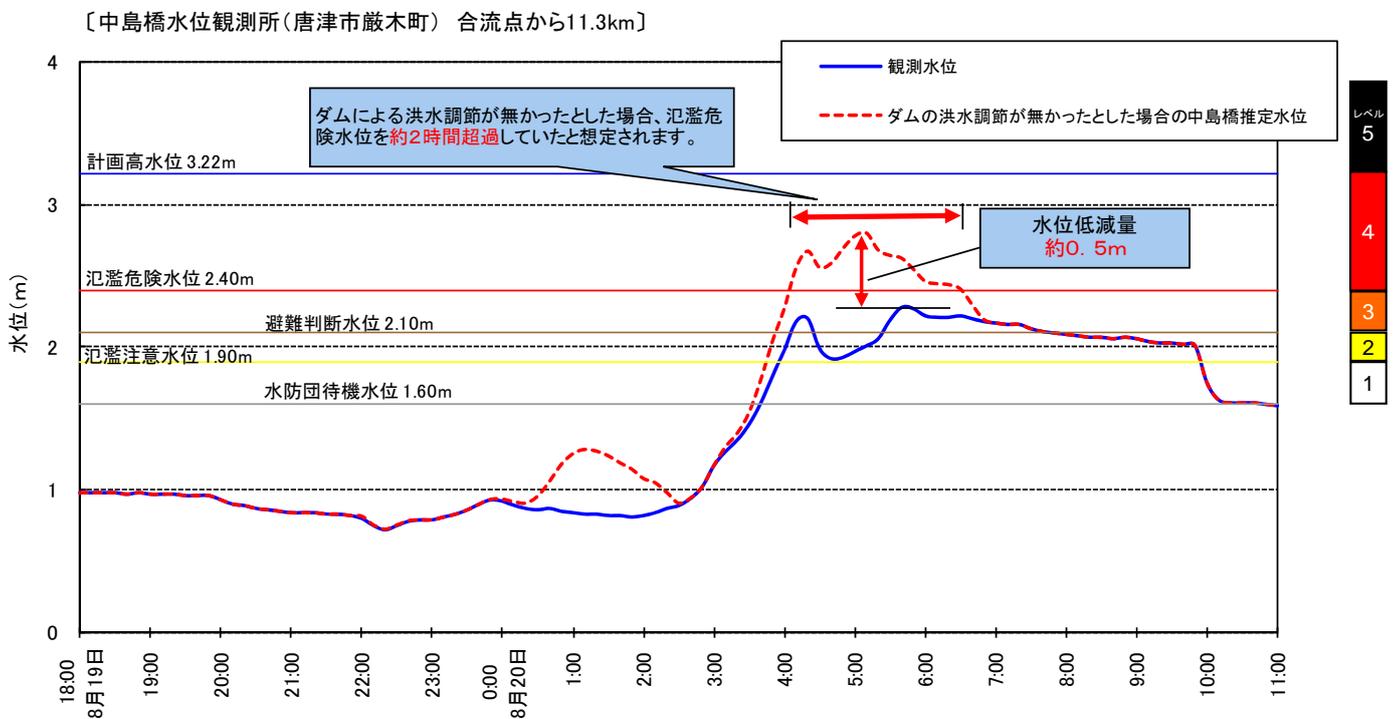
◆巖木ダムの洪水操作（ダム下流河川の増水を緩和させる操作）

8月20日4時00分より巖木ダムへ流れてくる水量の一部を巖木ダムへ貯めて、ダム下流の河川へ流す水量を最大で6割低減させる操作を実施しました。

◆巖木ダムの洪水調節効果

洪水調節により、ダム下流の中島橋水位観測所の最高水位を約0.5メートル低減させ、氾濫危険水位以下の水位に抑えました。

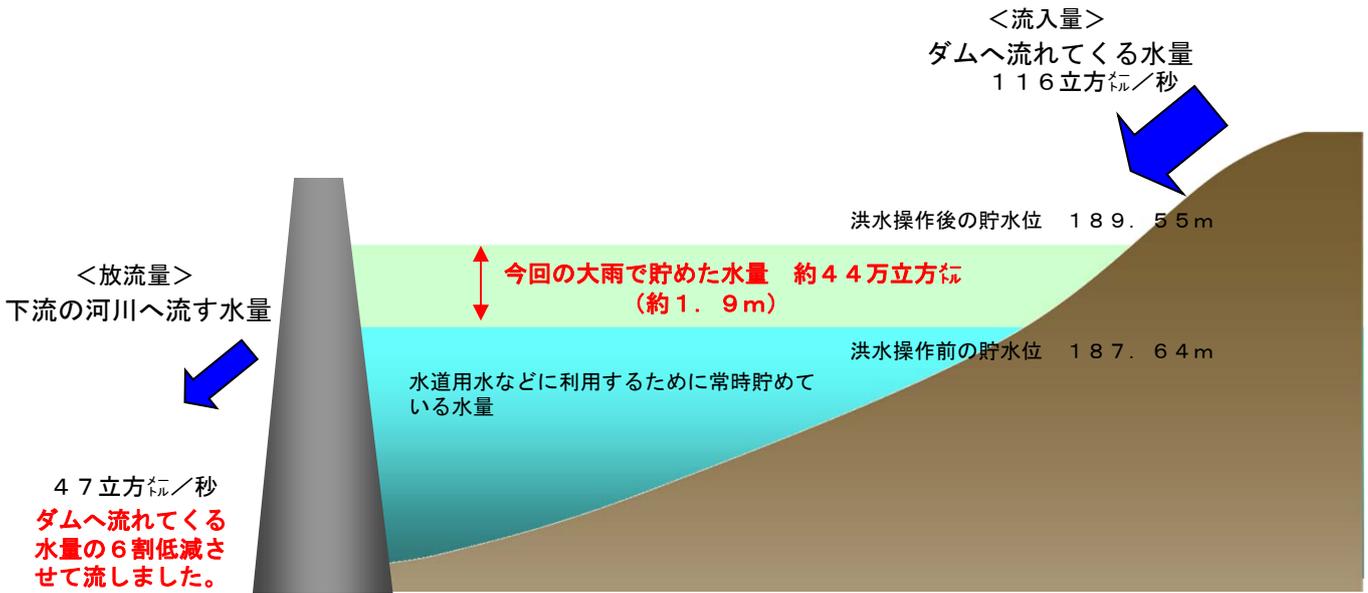
【巖木ダムの効果】



唐津市本山地区の状況【8月20日10時00分時点】

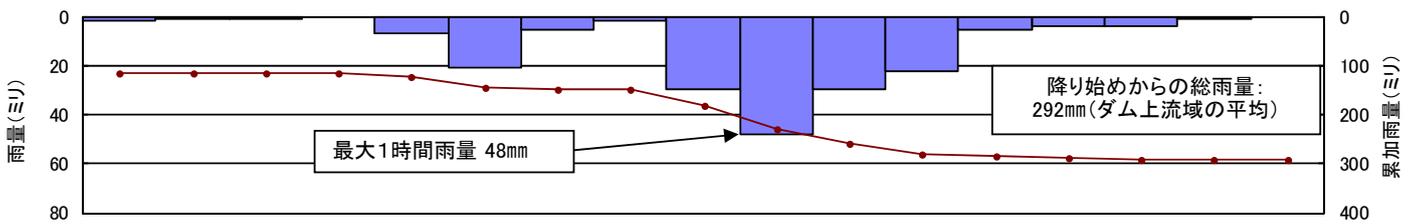


【①厳木ダムの洪水操作概要図】

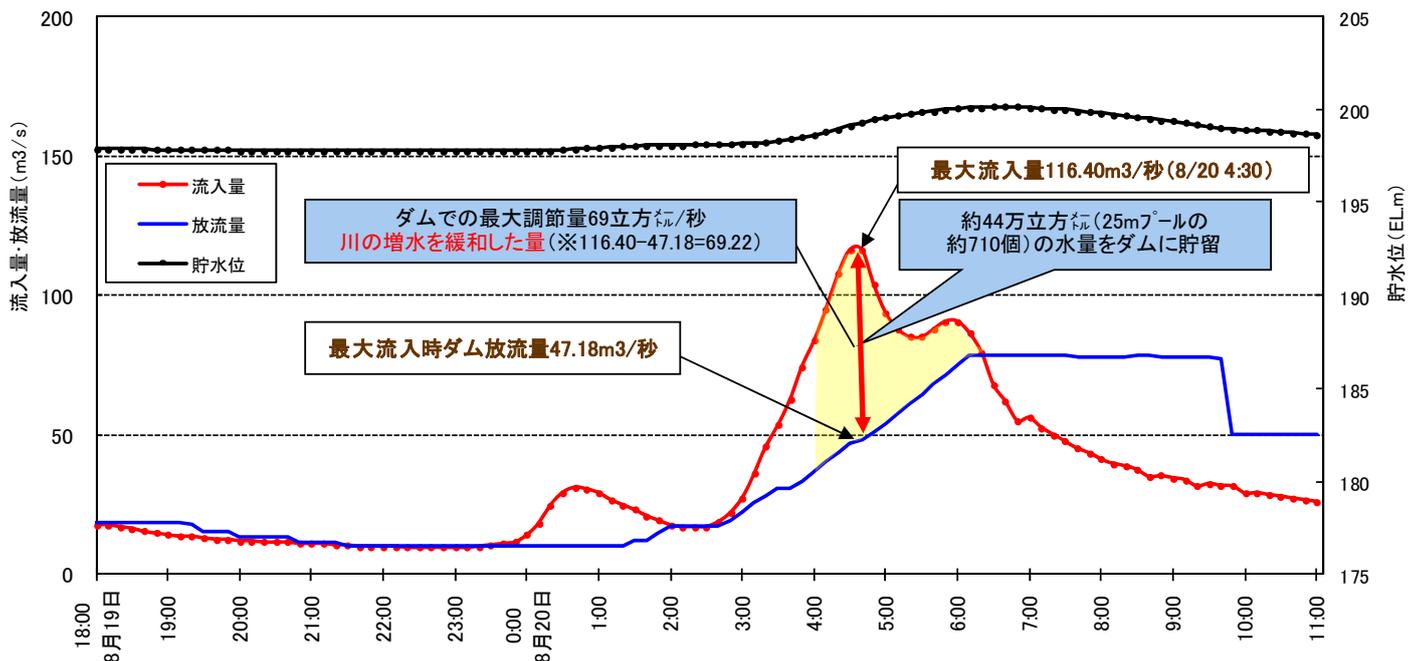


■降雨量(ダム上流域平均)

※速報値のため各数値は変わる場合があります



■厳木ダムの諸量



【②巖木ダムの洪水操作状況】

ダム上流からの流れ込み状況

平水時の状況（0.5立方メートル／秒）



8月20日9時の状況（35立方メートル／秒）

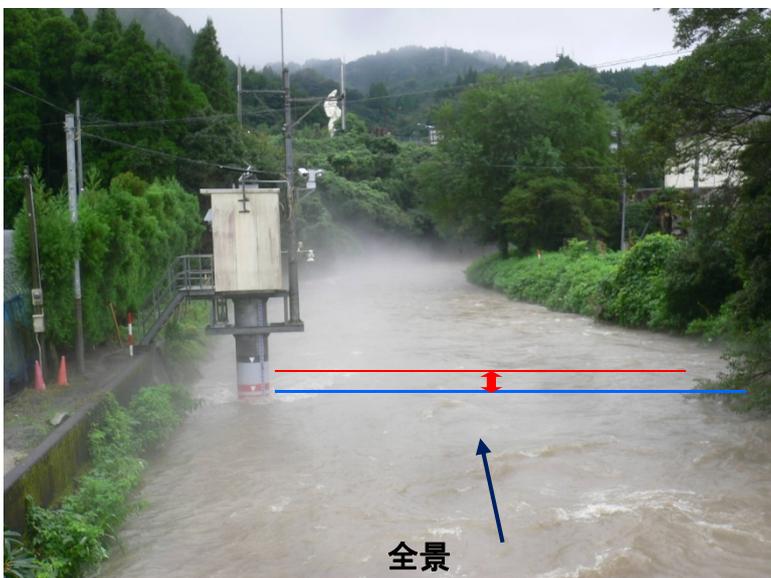


ダムからの放流状況

ダムからの放流量（78立方メートル）



唐津市巖木町の中島橋水位観測所の状況（8月20日9時40分の状況）



巖木ダムの洪水操作により、河川の水量を調節したことによって、巖木川の中島橋水位観測所地点で約0.5m河川の水位を低減させたと推測しています。